

「千葉市国際コーヒーの日」を開催します ～フェアトレードタウンの認定取得に向けた取り組み～

千葉市では、世界共通の目標である「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に資する取り組みとして、フェアトレードの普及・啓発を進めており、フェアトレードタウン認定の取得を目指しています。

このたび、フェアトレード産品を代表するコーヒーをきっかけにフェアトレードについて考えるためのイベント「千葉市国際コーヒーの日」を開催しますので、お知らせします。

1 目的

10月1日の「国際コーヒーの日」に合わせ、私たちに身近な飲み物であるコーヒーをきっかけに、フェアトレードの仕組みや意義について知っていただくとともに、生産者の暮らしや環境について考える機会を提供します。また、フェアトレード製品の販売や関連する展示・啓発を通じて、来場者のフェアトレードへの理解と関心を高め、日常の消費行動における選択につなげることを目的とします。

2 開催概要

- (1) イベント名称
千葉市国際コーヒーの日
- (2) 日時
令和8年10月1日（木）11：00～19：00
- (3) 場所
市役所1階 市民ヴォイド
- (4) 主催
一般社団法人千葉市国際コーヒーの日推進協会
- (5) 共催
千葉市

3 企画内容

- (1) コーヒー販売
フェアトレードコーヒー取扱店舗や市内のコーヒー取扱店舗が出店し、フェアトレードコーヒーをはじめ、世界各国のコーヒーを販売します。来場者は、産地ごとの味の違いを飲み比べながら、フェアトレードについても理解を深めることができます。
- (2) 飲食販売
コーヒーに合う焼菓子のほか、コーヒーの産地やフェアトレードに関連した飲食メニューを販売します。

(3) 物販

コーヒー豆やドリップパック等、コーヒーに関連する商品や書籍、国際産直のフェアトレード産品を販売します。

(4) 展示・啓発

フェアトレードや本市のフェアトレードに関する取り組みを紹介する展示を実施します。

(5) トークショー（15：00から）

市内のコーヒースタンド「豆 NAKANO」の仲野氏と、Zozo カフェ部によるトークショーを実施します。

※出展者等の詳細は千葉市国際コーヒーの日推進協会のウェブサイトをご確認ください。

【URL】 <https://pecomanmar.my.canva.site/coffee>



(6) パラグアイに関する作品の展示

2025年大阪・関西万博のパラグアイパビリオンで展示されていた作品の展示を行うとともに、パラグアイの豊かな自然や文化、伝統工芸などの魅力をパネルで紹介します。



※パラグアイの首都アスンシオン市は、千葉市の姉妹都市です。パラグアイの伝統的なレース「ニャンドウティ」のオブジェ

4 ごみの減量に向けた取り組み

一部のキッチンカーでは、リユース食器を使用して商品を提供します。リユース食器の導入により、使い捨て食器の使用を減らし、ごみの減量につなげるとともに、実際に使用することで、リユースを身近に感じられる機会を提供します。また、来場者には、マイボトルやタンブラー、マイバッグやごみ袋の持参を呼びかけます。

問い合わせ先

【千葉市国際コーヒーの日に関すること】

市民局市民自治推進部国際交流課 電話 245-5017

【リユース食器に関すること】

環境局資源循環部廃棄物対策課 電話 245-5237

<参考>

1 フェアトレードとは

フェアトレードとは、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「貿易のしくみ」です。

2 フェアトレードタウン基準

フェアトレードタウンとして認定されるためには、一般社団法人日本フェアトレード・フォーラムが定める以下の6つの基準を達する必要があります。

基準 1	推進組織の設立と 支持層の拡大	フェアトレードタウン運動が自足的に発展し、支持層が広がるよう、地域内のさまざまなセクターや分野の人々からなる推進組織が設立されている。
基準 2	運動の展開と市民の 啓発	地域社会の中でフェアトレードへの関心と理解が高まるように、さまざまなイベントやキャンペーンを繰り広げ、フェアトレード運動が新聞・テレビ・ラジオなどのメディアに取り上げられる。
基準 3	地域社会への浸透	地元企業や団体、学校や市民組織がフェアトレードに賛同し、組織の中でフェアトレード産品を積極的に利用するとともに、組織内外へのフェアトレードの普及に努めている。
基準 4	地域活性化へ貢献	地場の生産者や店舗、産業の活性化を含め、地域の経済や社会の活力が増し、絆が強まるよう、地産地消やまちづくり、環境活動、障害者支援等のコミュニティ活動と連携している。
基準 5	地域の店（商業施設）に よるフェアトレード産 品の幅広い提供	多様なフェアトレード産品が地元の小売店や飲食店で提供されている。 ※人口1万人あたり、1店舗
基準 6	自治体によるフェアト レードの支持と普及	地元議会がフェアトレードを支持する旨の決議を行うとともに、自治体の首長がフェアトレードを支持する旨を公式に表明し、自治体内へのフェアトレードの普及を図っている。

3 フェアトレードタウンの認定に向けて

本市では、フェアトレードタウンに向けて、フェアトレードの普及啓発に取り組んでいます。取り組みの詳細は市ホームページをご確認ください。

【URL】 <https://www.city.chiba.jp/shimin/shimin/kokusai/fairtrade.html>

